



全日畜だより

第 60 号

2024 年7月1 日
<https://www.alpa.or.jp/>

全日畜 第16回定時社員総会を開催

- 令和5年度事業報告等を承認（徐々にコロナ以前に戻り計画どおり実施できた）
- 令和6年度事業計画等を承認（コロナ明け・新基本法のもとで果敢に活動を展開）

開催日時、場所：令和6年6月17日(月)13:00～14:15 機械振興会館6階 65・66会議室

- ◎ 開会挨拶で、金子理事長は、異常な円安が長く続いていて輸入飼料を大量に使う我々としては、この為替相場は何かかならないものかという思いである。一方、生産物の価格が上がらない。牛さん豚さん鶏さんを生産している皆さんがやっていけるのかという先行きの心配がある。さらに、鳥インフル、豚熱などの家畜の病気の対策を防ぐことに大変苦労している中で、何とか安心して経営ができるように、全日畜としても政治家や行政に要望していかなければならないと思っている。



(開会挨拶する金子春雄 理事長と全国から参加の全日畜社員のみなさん)

5月に、食料・農業・農村基本法の改正法が国会を通った。「食料安全保障」の考え方が基本に据えられ、生産にかかった費用が価格に反映させられるようにということも入っている。私たちがこれまで政治家や行政に要請してきたことであり、これからは良い方向に行くのではないかと考えている。全日畜はこれからもいろいろな事業を使って生産者の課題を解決して行ければと思っている。今は畜産の大ピンチであるが、これを乗り越えれば明るい未来があると信じており、全日畜はそのために今年も頑張っていくので、引き続き全日畜活動へのご理解とご支援をお願いしたいと述べた。

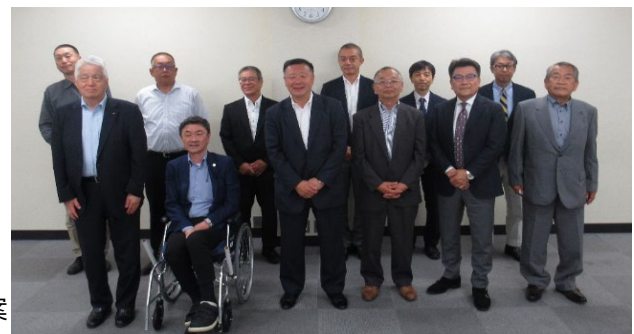
- ◎ 来賓挨拶は、最大の理解者である工業会の専務理事 高橋 洋 氏
高橋専務は、「配合飼料価格安定制度の見直し」と「飼料自給率の向上」について触れ、工業会は生産者の皆さんの協力を得て飼料メーカーと一緒に飼料の安定供給に努力していきたいと述べられた。



(来賓挨拶の工業会 高橋 専務理事)

◎ 議事の審議経過等

- ・ 総会議長に金子理事長を選任して審議入り
- ・ 議案は、 第1号議案 令和5年度事業報告・決算
第2号議案 令和6年度事業計画・予算
第3号議案 令和6年度会費など計5議案
- ・ 令和5年度の事業報告と決算については、説明の後、布施監事と引地監事から「適正なものと認める」との監事監査報告があった。
- ・ なお、審議された5件の議案は、すべて賛成多数で原案どおり可決承認された。



(審議に参加された全日畜の社員のみなさん等)

第4号議案 役員の選任について

理事の退任が生じ、総会で新たに1名の理事を選出しました

- ・ 任期途中で役員の退任が生じ、総会で新理事1名を選出
 - ◎ 退任理事 安井 護 氏（前、工業会参事）
※5年間大変ありがとうございました。
- ・ 総会で賛成多数で新理事を任命
 - ◎ 新任理事 林 義隆 氏（工業会参事）
※任期は前理事の残任期の来年度の社員総会までです。



(就任挨拶の 林 新理事)

(就任挨拶の 林 新理事)

(事務局から人事異動のお知らせ)

今総会を機に、事務局長が交代しました

- ・ 約4年間事務局長を務めました
 - ◎ 退任の事務局長 陣野原 隆 氏
※ご苦労さまでした。ありがとうございます。
(右写真は、最後の総会で議案説明をする退任の 陣野原 氏)
- ・ これからお世話になります
 - ◎ 新任の事務局長 稲田裕司 氏
※よろしくお願いします。
(右写真は、総会後に併催したセミナーから引継ぐ新任の 稲田 氏)



「トピックス」

「関東甲越全日畜」と「千葉県全日畜」が第14回定時会員総会を開催

- ・ 開催日時、場所：令和6年6月17日(月)10:00～12:00 機械振興会館6階 67会議室

- ・ 千葉県全日畜総会は工業会、千葉県庁、同県関係団体等を来賓に招いて開催
- ・ 関東甲越全日畜総会は工業会等の来賓を招いて開催
- ・ 両総会ともに、平成6年度事業計画では、クラスター事業への参加、各種畜産振興事業への独自参加、情報交換、全日畜中央事業の支援等を確認。



(「関東甲越全日畜」「千葉県全日畜」総会会場の様子、写真は長嶋理事長の開会挨拶)

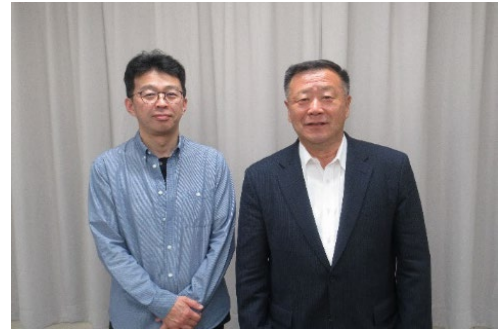
全日畜は今年度も「総会記念セミナー」を開催しました

◎ セミナーの概要

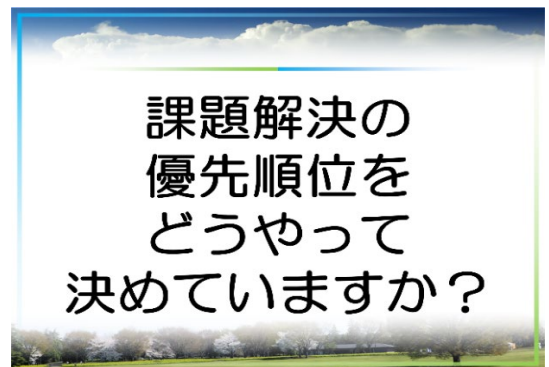
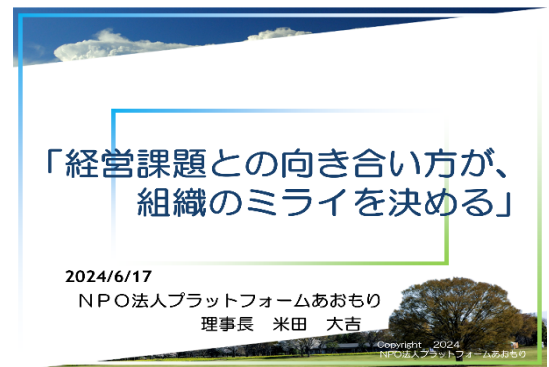
- ・ 全日畜は令和6年6月17日（月）、第16回定時社員総会に引き続き「全日畜セミナー」を開催した。
- ・ 講師は、NPO法人プラットフォームあおもり
理事長 米田 大吉（よねた だいきち）氏
- ・ 演題は、「経営課題との向き合い方が組織のミライを決める」

◎ セミナーレポート

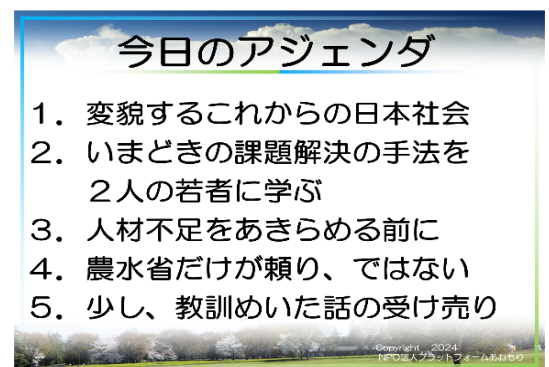
- ・ 講師の青森県在住の米田氏は、人口減少や広域連携の支援、県内企業の人材確保、県内企業の外貨獲得の支援に係る活動の中で様々な事例を紹介し、経営の持続化に向けた対応方法を示した。
- ・ たとえば、消費者のうち、品質を最優先し、購入先にこだわらない性向の消費者を製品のターゲットとすると、パワーのある企業が総取りする可能性があるため、品質が最優先ではなく購入先にこだわる消費者を見つけて製品やサービスを提供し続ける戦略を提案した。
- ・ また、システムを構築しても、どの段階で終了とするか決めるのが重要であり、撤退の巧拙がカギとなると説明した。
- ・ 経営者については、人口減少を前提に、海外など自分の価値が高まり、勝ち続けられる場所を見出していくべきと説明し戦略にも触れた。
- ・ 参加者からは感想や意見、質問が出され、地域に若者、よそ者呼び込む方法、彼らが地元に着中する中で、新たな発想や考えを地域振興に活かしていく方法などについて意見交換が行われた。



(写真左が米田講師、右が金子理事長)



(会場の様子から、開会挨拶の金子理事長)



(写真上3枚がスライドからの紹介)

変貌する日本社会で、生産者は日夜「経営の持続化」と格闘中

- ◎ セミナーは、米田講師（写真右参照）が、今の課題解決の手法を、米田氏が地域で実践している事例をもとに具体的にわかりやすく説明していった。
- ◎ 講演後は、米田講師と会場参加者との意見交換。
会場の生産者は、自らが抱えている現場の実情を話して「この課題解決は？」と講師に問い、米田講師も具体例を示して回答していた。



写真は、畜産生産者 山上祐一郎 氏（岡山県）



写真は、畜産生産者 長嶋 透 氏（千葉県）



写真は、畜産生産者 長友浩人 氏（宮崎県）



写真は、畜産生産者 藤井照雄 氏（山口県）

（お知らせ）

この「総会記念セミナー」は、報告書の作成、講演動画の公開を全日畜ホームページ（全日畜プロパー事業、イベントページ）に公開する予定です。

全日畜は、令和6年度 第一回 全国事務局長会議を開催

- ・ 開催日：令和6年6月18日（火） 10:00～
- ・ 会場：工業会 大会議室
- ・ 参集者：地域全日畜、県全日畜の事務局長

- ◎ コロナの影響で開催できなかった期間にメンバーの交代もあったので、全国の地域全日畜、県全日畜の事務局長が参集し、あらためて全日畜の活動や地域全日畜、各県全日畜の活動について、共通の認識を持った。また、意見交換では、地域の事務局長から、調査事業の実施等で全日畜の知名度も高くなってきたと感じている。今後は、国等の委員会等へ物申せる団体を目指して欲しい等の意見が出された。



（左側が地域全日畜、県全日畜事務局長のみなさん）

（商系団体の略称標記について）

- 全日畜：一般社団法人 全日本畜産経営者協会
- 全日基：一般社団法人 全日本配合飼料価格畜産安定基金